



福井県立恐竜博物館 春季企画展

いのち
生命躍る海

～その知られざる世界を探る!～

海の底は、^{いのち}生命のゆりかご。

「深海」「漂着生物」「海洋生物の化石」の3つのゾーンで、
海の不思議の一端に触れてください。

2021年 3月20日 - 5月9日

福井県立恐竜博物館 3階 特別展示室

■ 特別協力 / 国立研究開発法人 海洋研究開発機構 (JAMSTEC)、学校法人 東海大学海洋学部、千葉県立中央博物館、越前松島水族館
■ 後援 / 福井新聞社、日刊県民福井・中日新聞社、NHK福井放送局、FBC、福井テレビ、FM福井

福井県立恐竜博物館 〒911-8601 福井県勝山市村岡町寺尾51-11 TEL 0779-88-0001 FAX 0779-88-8700
<https://www.dinosaur.pref.fukui.jp>



恐竜博物館春季企画展

「^{いのち}生命躍る海～その知られざる世界を探る！～」

1 趣 旨

福井県では昨年策定した長期ビジョンで、SDGs（持続可能な開発目標）の理念に沿った「福井県が目指す姿」を示したところであり、恐竜博物館としても主体的にアクションする必要がある。

このSDGsには17の目標が設定されているが、当館では展示ゾーンの一つである「地球の科学」の中で、生命の起源の場と考えられる「海」をテーマの一つとして扱っていることから、今回の企画展では17の目標のうち「14 海の豊かさを守ろう」を開催理念として位置付けることとした。

今回の企画展は、当館としては過去の特別展および企画展を通して初めて「海洋科学」をテーマに設定して、改めて「海」の偉大さ、尊さ、大切さを再認識する場、さらに普段目にすることのできない「海」の不思議を体感する場とする。

2 概 要

本企画展は、「深海」、「漂着生物」および「海洋生物の化石」の3部構成となっている。「深海」はそこで繰り広げられる生物の蠢き、生命の起源の場と考えられる現場の環境、大型クジラの死骸に群がる生物群集を映像とともに紹介する。「漂着生物」では海岸に打ち寄せられたクジラの骨格などを展示する。さらに、「海洋生物の化石」では、太古の海の底に堆積し化石として保存された生き物を展示する。海にまつわる様々な標本から海の不思議の一端に触れていただきたい。

3 内 容

(1) 会場

恐竜博物館3階特別展示室

(2) 期間

令和3年3月20日（土・祝）から令和3年5月9日（日）まで

(3) 主な展示（全40点）

ア 深海ゾーン 18点

- ・熱水噴出孔生物群（実物）
- ・アフリカナケタス（実物、初公開）
- ・ダイオウグソクムシ（実物のプラスチックネーション）
- ・マンガクラスト（実物）
- ・スケーリーフット（実物）
- ・有人潜水調査船「しんかい6500」模型（1/10） など

イ 漂着生物ゾーン 10点

- ・ナガスクジラ骨格 (実物、初公開)
- ・ミンククジラ骨格 (実物)
- ・ルリガイ (実物) など

ウ 海洋生物の化石ゾーン 12点

- ・ダイオウグソクムシ (実物)
- ・コミナトダイオウグソクムシ (実物)
- ・ヌマタネズミイルカ (実物)
- ・オトドウス・メガロドン (実物) など

(4) 特別協力

国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC)、
学校法人東海大学海洋学部、千葉県立中央博物館、越前松島水族館

(5) 後援

福井新聞社、日刊県民福井・中日新聞社、NHK 福井放送局、FBC、
福井テレビ、FM 福井